

写

受理番号	陳情第2号
受理年月日	令和2年8月18日

陳 情 書

令和2年8月18日

近代建築物を活用した二宮の魅力づくりを求める陳情

二宮町議会議長  
野地 洋正 様

陳情者 二宮町二宮 1931-3

まちづくり工房「しお風」代表 神保智子



【陳情趣旨】

日頃から「しお風」の活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。活動の一つに地域ブランドづくり「湘南♡風と星物語」があります。

昔から培われてきた二宮の生活文化やアカデミックな風土を失うことなく、二宮らしさを追及し、忘れられている地域資源を掘り起こす活動です。

来町者が地元二宮の人たちとふれあいながら、「しお風」独自の「walkwalk(ワクワク)マップ」とガイドブックを用い、「walkwalk(ワクワク)地域探検ツアー」という町歩きを湘南邸園文化祭の事業として2008年から毎年実施してきました。その中心は近代建築物、旧山川邸、旧吉田五十八邸、北口通りや東大二宮果樹園跡地の大正、昭和初期の建築物、吾妻神社の社殿などで、大変人気があります。

また、邸の持ち主であった吉田五十八や山川方夫は湘南スタイルという生活様式を築いた祖とも言われ、近年再注目されています。

この活動の中で、「湘南みかんのある暮らし」や「生活文化や季節を感じる風景」が二宮の大きな魅力であり、その魅力は継承してきた住民の力、愛であると感じました。それは、湘南の残したい資産だとも考え、旧山川邸は湘南遺産に手上げし、選定されました。

しかし、これらの近代建築物の老朽化はひどく、多くの住民は存在さえも知らない状況です。このままでは近い将来、これらの建築物は消失、存在したことさえも埋もれてしまう危機感を持っております。

これら先人が二宮の魅力に気づき、愛した遺産を今だからこそ私たちの暮らしにも活かし、二宮の魅力づくりに位置づけ、未来に伝えたいと思い、「忘れられた豊かさ探訪『ふれ愛遊学探訪』」を開始しようとしています。また、二宮町は消滅可能性都市で、コロナウイルスの感染拡大の中で、将来自治体経営は危機的な状況に陥る懸念もあります。その中で生き残るには、「居たいと思わせる個性的な自律した自治体」だと考えています。

近代建築物を活用した二宮の魅力づくりを町と住民が協働で行うことで、二宮のイメージアップになり、住民の郷土愛や町外の二宮ファンを増やし、町の活性化、定住促進にも貢献すると思えます。このようなことから、次の項目を陳情いたします。

【陳情項目】

1. 二宮町内の近代建築物の現況調査(建築年、所有者、現在の状態等)を求めます。
2. 近代建築物を活用した二宮の魅力づくりとなる二宮らしい湘南スタイルをアピールするイメージ戦略を求めます。
3. 邸園文化圏再生構想事業としての位置付けを神奈川県に働きかけることを求めます。

以上